

熊野古道 神仏習合の聖地「熊野三山」を巡礼するために開かれた参詣道。中心ルートといえる「中辺路」の道中には熊野の御子神をお祀りした王子跡が点在する。

6月定例会号

主な記事

- 2～3面 平成26年6月定例会概要
- 4～5面 議員の紹介
～あなたのまちの議員を紹介～
- 6面 各委員会の紹介
- 7面 議員提案条例の紹介
- 8面 議会活動の紹介
県議会からのお知らせ

わかやま 県議会 だより No.25

平成26年[2014]
8月10日発行(年4回発行)



一次産業と観光産業の発展で 「元気な和歌山」の実現



新しく就任した議長・副議長と、平安衣装をまとった「梅娘」の馬場 布友香さんと東 美寿穂さん
左から馬場 布友香さん、坂本 登議長、尾崎 太郎副議長、東 美寿穂さん

ふるさとの資源を大切にし 和歌山の活性化を

坂本 登議長 「一次産業の活性化なくして地域の活性化はない」というのが私の信条です。和歌山県が元気になる

ためには一次産業が元気になることだと強く主張してきました。農業や漁業が元気になれば、地域の商店街やサービス産業など全てが元気になります。幸い、和歌山県にはミカンや梅、野菜に漁業といった宝物がたくさんあり

ます。この地で穫れたものにさらに磨きをかけて付加価値を高めることが勝負だと思っています。

特に私が力を入れてきたのは、梅を対象にした世界農業遺産への登録です。もう一度、梅の良さを見直そう、大切にしよう、誇りを持って世界に梅の素晴らしさを知ってもらおうという願いを込めて取り組んでいます。

そして、二次産業も大事です。地場産業が元気になり、自分たちだけが持っている技術や経営ノウハウを活かしてほしいと願っています。

尾崎 太郎副議長 関西国際空港ができ、和歌山県は長年「扇風機の裏側」と言われてきました。残念なことですが、そういう面もなきにしもあらずでした。しかし、関空がLCC(格安航空会社)の拠点となり注目をされるようになって状況は一変しています。

かつては人生の一大イベントであった海外旅行が気軽に行ける時代になりました。海外からの観光客も、人生に1度や2度しか日本に来られないのなら京都や奈良に行くでしょうが、これからは目的地の選択肢は広がってきます。ですから、本県の魅力をアピールするチャンスが飛躍的に高まっていると思います。今はLCCを活かした本県経済活性化の千載一遇の

チャンスであり、観光ビジネスも含めたまちづくりをしていきたいと思っています。

紀の国わかやま国体・大会の成功を目指して

議長 スポーツは、やはり勝つと元気が出てきますので、できれば天皇杯、皇后杯をとって優勝してほしい。

ただし、国体は勝ち負けだけではありません。国体を契機に交通や公共のインフラが整備され、同時に県民のスポーツに対する関心が高まり、それが県民の健康増進やコミュニティに役立つことを願っています。

また、国体後のことも見据えてジュニアの育成・強化にも力を入れてまいります。

副議長 前回の黒潮国体のときにも多くの優秀な指導者らが和歌山県に来てくれました。その2回目のチャンスが今回も巡ってきて、優秀な選手や指導者が和歌山県に来てくれています。これを契機にさらにスポーツへのテコ入れを行い、再び全国に覇を唱えるようなスポーツ大県として飛躍していききたいものです。



紀の国わかやま国体での活躍が期待される新体操少年女子強化選手チームの皆さんと

福祉・医療

福祉の意識の醸成

問 公共施設等に設けられている障害者用駐車区画に健常者が駐車しているのを見かけるが、県民に福祉の意識を深めるため、県はどのような取組を行っているのか。

答 県では、和歌山県福祉のまちづくり条例に基づき、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めています。障害者用駐車区画の適正利用については、子供たちの理解を深めるため教員に向けた研修や「県民の友」などの広報媒体を使った啓発活動等を行ってきました。今後も、県民一人ひとりに理解を深めてもらうため、関係機関とも連携しながらさらに取組を進めていきます。



在宅医療への取組

問 昔は病気になると医者が往診に来てくれたりしたが、最近ばかりつけ医が少なくなっているように思う。在宅医療の必要性を感じるが、そのシステムをどうつくっていくのか。

答 県では、在宅医療を推進するため、主治医をサポートする人材育成が必要と考え、医師・歯科医師・看護師・薬剤師など多職種がそれぞれの立場を理解し、在宅でチーム医療を実践するための研修を行っている。また、24時間365日の患者対応が可能な体制をとるため、二次保健医療圏ごとに、相談窓口の設置や病診連携など、ネットワークの構築に取り組んでいます。



教育

食育における減塩食と和食の取組

問 高血圧や循環器病を予防するには子供のころからの減塩が大切であるが、学校給食での取組はどうか。また、ユネスコ無形文化遺産となった和食についての取組はどうか。

答 文部科学省が食塩の摂取量の基準値を定めています。平成25年の調査では、本県の学校給食1食当たりの食塩摂取量は、小・中学校とも基準値内となっており、引き続き、学校給食用減塩メニュー研修会等を行い、減塩に対する意識を向上させるとともに、減塩につながる和食の「だし」の大切さを啓発し、学校給食により多く和食を取り入れられるよう働きかけていきます。

津波避難対策への取組

問 政府は南海トラフ巨大地震等を想定した「津波避難対策特別強化地域」を指定し、本県では沿岸18市町と古座川町が指定されたが、県は、特に津波避難対策について、今後、国や市町村とともにどう取り組むのか。

答 「津波避難対策特別強化地域」では、避難施設や避難路の整備等に対し、国の負担割合がかさ上げされるなど、手厚い財政支援を受けられるので、従来の津波から命を守るための避難対策がより一層推進されるものと考えます。今後とも、市町と連携を図りながら、避難路・避難施設の整備等、様々な施策を推進し、津波避難対策に取り組んでいきます。



コミュニティFM局との災害協定

問 県は昨年11月18日、県下5FM局との間で災害協定を締結した。これは具体的に行動に移すための双方の決意を示し、FM局に積極的に協力を求めたものと理解するが、県はFM局に何を期待するのか。

答 コミュニティFM局には、速報性、地域性が高いという特徴を生かし、住民に対して地域に特化したきめ細かな情報を発信できる地域密着型の媒体としての役割を期待しています。県としては、災害時にその機能を発揮できるように、日ごろから十分意見交換を行いながら、災害時の効果的な情報発信に取り組んでいきます。



防災

浮上式津波防災堤防

問 和歌山下津港海南地区の浮上式津波防災堤防について、国の技術検討委員会では、どういった検討がなされ、何が問題になっているのか。

答 南海トラフの巨大地震のような最大クラスの津波を起こす地震では、地中部の鋼管が曲がって防波堤が浮上しなくなる可能性があり、周辺地盤の改良、鋼管の剛性強化等を行う必要があるとの指摘がありました。国土交通省からは、今回の指摘を踏まえ、当該防波堤の整備方針の変更について検討を行っているという聞いています。

防災訓練への米軍ヘリの参加

問 本年6月に陸上自衛隊中部方面隊の防災訓練が本県においても実施されたが、米軍ヘリの参加について、事前説明、また日米地位協定による一時使用の手続があったのか。

答 米軍ヘリの訓練参加については、自衛隊航空機の活動の一部として参加することや、その行動内容についても説明を受けています。また、米軍ヘリの空港使用については、自衛隊の計画で参加しているもので日米地位協定を適用するものではなく、自衛隊航空機の通常の手続に米軍ヘリを含ませた内容で申請したと防衛省に確認をしております。

産業

中小企業の現状

問 昨年12月に議員提案により和歌山県中小企業振興条例が制定され、このほど知事から施策の実施状況が報告されたが、極めて厳しい状況にある中小企業の置かれている状況をどのように考えているのか。

答 我が国の経済情勢は輸出型企業を中心に持ち直してきていますが、輸出関連企業が少なく中小企業が多い本県では、地域経済全体の回復が課題です。県では、通常の中小企業支援策に加え、採算が好転していそうな企業に対し、景気回復のメリットを広く得られるよう要請活動をしてきました。今後とも、県内中小企業を取り

巻く環境の改善に取り組んでいきます。



人口

人口の社会減対策

問 県では、人口の自然増をふやすため、社会減をプラスに転じていくことから始めなければならないが、その施策をどう考えているのか。

答 創業支援等により産業を強化するとともに、産業別担当者制度により企業の課題

を把握し、国、県の支援施策を情報提供するなど、事業活動環境の向上を図っています。立地奨励金制度の活用等により積極的に企業誘致を図るなど、新たな雇用の場の創出に取り組んできました。今後とも、危機感を持って社会減、自然減の両面から人口減少を食い止める対策に注力していきます。

議員を紹介します。



岸本 健

農 自民

未来を担う子どものため、地域の活性化、教育の充実、人にやさしい政治、躍動する和歌山を実現します。



向井 嘉久藏

文 自民

地域活性化に役立つもの信じ、FMはしものラジオ局を開局しました。私もパーソナリティ。



中本 浩精

文 自民

私は、誰にも負けない「やる気、元気、根気」を持って県政発展の為に尽力させていただきます。



山田 正彦

総 自民

私に課せられた課題は、多種多様、一步前へ、そしてベストをつくすの、熱い思いで!! 全力投球!!



服部 一

福 自民

少子高齢化が進み、過疎化の傾向にある。特性を生かすことにより県の活性化を図る。



上田 良治

農 自民

このたび、県議会議員に初当選させていただきました。和歌山の地域力再生を目指して頑張ります。



吉井 和視

文 自民

国土強靱化基本法が制定され、これから、災害に強い和歌山県の基本計画づくりが始まります。



松坂 英樹

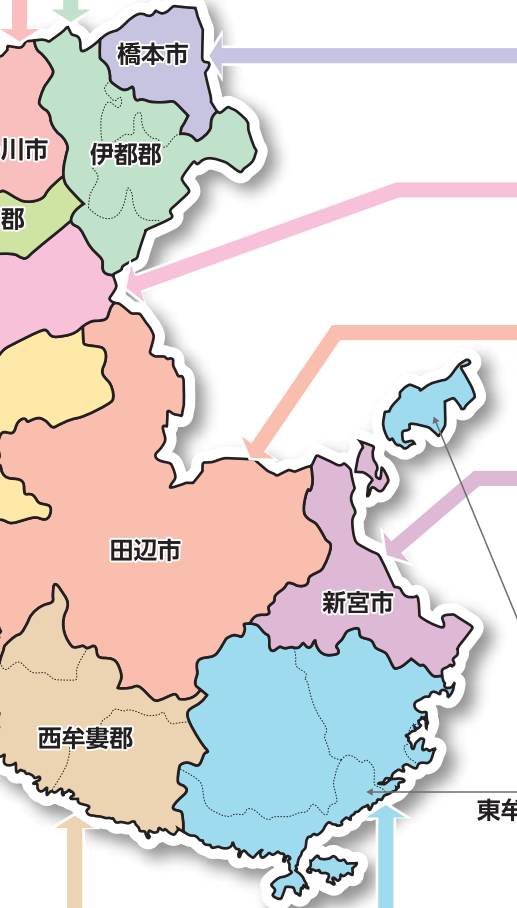
建 共産

「あなたの声を県政へ」 つねに住民目線を心がけ、暮らしの願いを政治に届けてがんばります!

紀の川市 (定数3人)

橋本市 (定数3人)

有田郡 (定数2人)



田辺市 (定数3人)



鈴木 太雄

農 自民

ふるさと発展の為に、豊かな地域資源を有効かつ、より積極的な攻めの政策により最大限生かします



大沢 広太郎

建 自民

終活年齢に入り、心の糧と精進して居る事は今生では欲に溺れず後世に感謝される人生をと念じてます。

新宮市 (定数1人)



濱口 太史

経 自民

災害対策やインフラ整備に加え、大型イベント等の追い風を活かし地域力の向上に全力を注ぎます。



谷口 和樹

福 改新

子供達の教育・スポーツ・通学環境、子育て環境を創っていくことで和歌山の未来を切り拓きます。

西牟婁郡 (定数2人)



立谷 誠一

建 自民

カツオ漁が有史以来の不漁となりました。資源保護の視点で今後を見守って行きたく考えます。



高田 由一

総 共産

平和でこそスポーツも楽しめます。日本を戦争できる国にしないよう憲法9条を守る政治を!

東牟婁郡 (定数2人)



谷 洋一

農 自民

『紀伊半島に安全・安心と活力を!』をモットーに、地域の声を県政に一生懸命届けていきます。

日高郡 (定数3人)



富安 民浩

農 自民

価値観の多様化が進んでいます。今一度ふるさとの魅力の再発見を!



坂本 登

福 自民

梅、花、野菜、水産。郷土は一次産品大国。ふれ合いを大切に、より強く豊かな郷土を目指します。



花田 健吉

総 自民

紀の国わかやま国体・わかやま大会を盛り上げよう! 県民の皆様のご協力をお願いします。



前芝 雅嗣

建 自民

一生懸命をモットーに、和歌山県全域はもとより、特に紀南地域の観光振興に、全力で取り組みます。

議員の紹介

あなたのまちの



ただし
純一

「紀伊風土記の丘」を散策。そして岩橋千塚古墳群を通して、郷土和歌山の歴史認識を見直しています。

文
公明



つのだ
秀樹

現場第一で誠実な対応で「安心・安全な街づくり」のネットワーク構築に全力を傾注!!

農
公明



なか
拓哉

皆さまの税金の使い道を決め使い方をチェックする役割をもつ議会の働きぶりを注視し続けて下さい。

経
公明



おざき
太郎

県政のあり方について県当局とは違った視点でとらえてこそ議会は存在意義があると考えています。

福
自民



う
治
田
栄蔵

空手道の指導を通じ、青少年の健全育成を図り、強い子を育てるとともに武道振興に努めています。

経
自民



ながさ
か
隆司

国体成功と優勝を目標に、本県の地域資源と潜在能力を心から力強く国内外にアピールしましょう。

経
改新



ふ
じ
も
と
まり
子

子ども達の笑顔が仕事の励みになっています。子育て環境の整備、教育環境の充実に頑張っています。

農
改新



や
ま
し
た
直也

いつでもどこでも一生懸命！教育・医療と福祉の充実に挑戦し続けます！県益確保こそ我が使命！

経
自民



もり
礼子

皆様于心美しく清らかで、幸福を感じ得られますように、私の力の限りつくして参ります。

文
自民



にい
じ
ま
雄

ブラジルへ県人の方々方が移民されて、60年が経ちました。涙の出る話を沢山聞かせていただきました。

総
自民



い
で
益弘

第二阪和・京奈和道の早期開通と河川や下水路の早期整備&果樹や木材の販路拡大に頑張ってます!!

経
自民



う
ら
ほ
うち
高典

東日本大震災・紀伊半島大水害から4年目、「がんばろう日本まけへんでえ和歌山」募金活動継続中

文
改新



か
た
ぎ
り
章浩

お会いした皆さんが幸せになるよう動きを感じてもらえる活動をしています。期待を寄せて下さい。

建
改新



お
く
む
ら
規子

憲法を生かし、赤ちゃんからお年寄りまでともに安心して住める社会をぜひ一緒にめざしましょう

福
共産



や
ま
も
と
茂博

正直者がむくわれ、流した汗がむくわれ、幸せを分かち合える政治。善きものを実現するためにがんばります。

総
自民

岩出市
(定数2人)
欠員1人



か
ど
三佐博

県の発展は道路の整備充実が第一と考えています。京奈和道、府県間鍋谷トンネル、完成も間近です。

建
自民

伊都郡
(定数1人)

和歌山市
(定数15人)
欠員1人



さい
か
光夫

「雨二モマケズ」平和とくらしを守るために県民のみなさまとともに

文
共産

海南市
(定数3人)



ふ
じ
や
ま
将材

次代の担い手となる子どもたちのため、県民の皆さんの生活向上のため、県勢浮揚へまっしぐら!

総
自民



お
ざ
き
要二

いつも全力投球!

経
自民

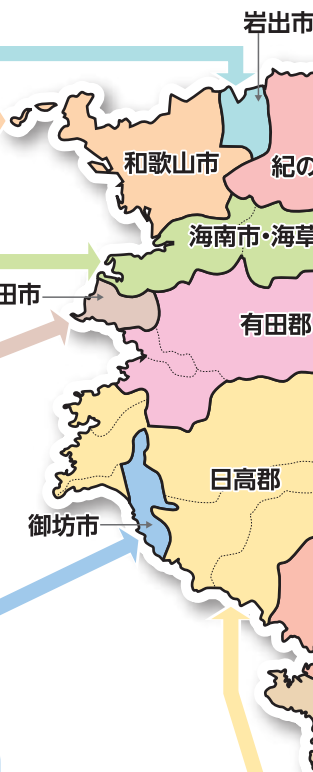
有田市
(定数1人)



あ
さ
い
修一郎

わかやまを売り出すチャンス到来。来年開催されるわかやま国体等を成功させ「真の観光立県」を!!

建
自民



御坊市
(定数1人)

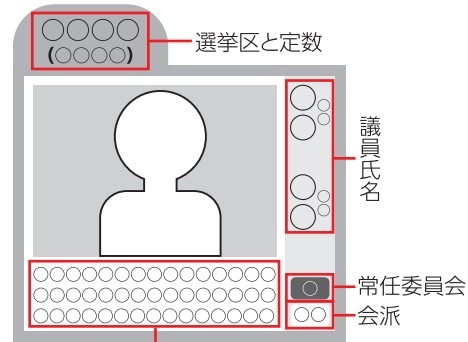


な
か
む
ら
裕一

和歌山には自然や文化など素晴らしい資源がいっぱいあるんよ。それを皆で力合わせて磨こらよ!!

福
自民

議員紹介凡例



県民の皆様へのメッセージ

会派凡例 自民：自由民主党県議団/改新：改新クラブ
共産：日本共産党県議団/公明：公明党県議団

常任委員会凡例

総：総務委員会/福：福祉環境委員会/経：経済警察委員会
農：農林水産委員会/建：建設委員会/文：文教委員会

◎総：委員長 ○総：副委員長

各委員会の紹介



本会議

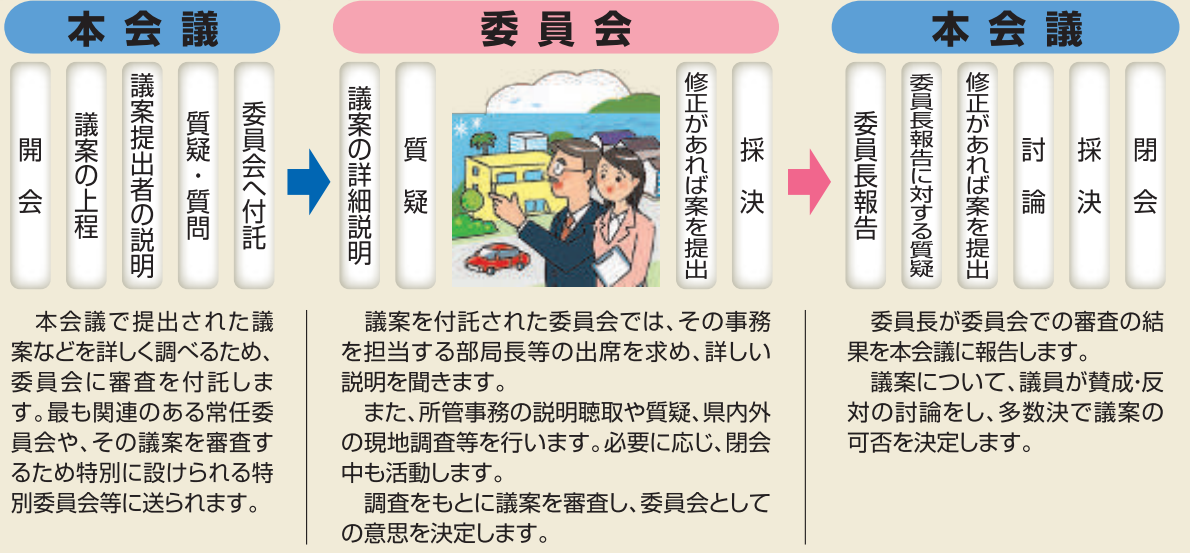
議案を付託

審査の結果を報告



委員会

審議の順序 県議会ではどうやって物事が決められていくの?



議会運営委員会

議会の運営に関する事項や議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項等について調査審議します。

審議内容
●本会議の進め方
●意見書・決議案 など

- (定数12人) ※図書委員会委員を兼任
- | | | |
|--------|-------|-------|
| ◎藤山 将材 | 服部 一 | 谷 洋一 |
| ○岸本 健 | 山本 茂博 | 谷口 和樹 |
| 新島 雄 | 山田 正彦 | 松坂 英樹 |
| 井出 益弘 | 前芝 雅嗣 | 多田 純一 |

常任委員会

総務委員会

定数7人

- ◎花田 健吉
- 藤山 将材
- 新島 雄
- 山本 茂博
- 山田 正彦
- 高田 由一
- (欠員1人)

所管する部局

総務部・企画部・会計管理者・選挙管理委員会・人事委員会・監査委員・他の常任委員会の所管に属しない事項

審議内容

- 県財政 ●長期計画
- 国体・防災 など

福祉環境委員会

定数7人

- ◎谷口 和樹
- 中村 裕一
- 尾崎 太郎
- 服部 一
- 坂本 登
- 奥村 規子
- (欠員1人)

所管する部局

環境生活部
福祉保健部

審議内容

- 子ども・子育て
- 高齢者対策
- 産業廃棄物処分施設許可 など

経済警察委員会

定数7人

- ◎濱口 太史
- 山下 直也
- 井出 益弘
- 宇治田栄蔵
- 尾崎 要二
- 長坂 隆司
- 中 拓哉

所管する部局

商工観光労働部
公安委員会
労働委員会

審議内容

- 観光
- 産業と雇用
- エネルギー
- 交通安全と治安 など

農林水産委員会

定数7人

- ◎鈴木 太雄
- 藤本眞利子
- 上田 良治
- 岸本 健
- 富安 民浩
- 谷 洋一
- 角田 秀樹

所管する部局

農林水産部
海区漁業調整委員会
内水面漁場管理委員会

審議内容

- 農業・林業・水産業の振興 など

建設委員会

定数7人

- ◎立谷 誠一
- 松坂 英樹
- 門 三佐博
- 前芝 雅嗣
- 浅井修一郎
- 大沢広太郎
- 片桐 章浩

所管する部局

県土整備部
収用委員会

審議内容

- 道路網・港湾整備
- 治水・砂防事業
- 都市政策・公園・建築 など

文教委員会

定数7人

- ◎森 礼子
- 多田 純一
- 中本 浩精
- 吉井 和視
- 向井嘉久蔵
- 浦口 高典
- 雑賀 光夫

所管する部局

教育委員会

審議内容

- 学校教育
- 生涯学習・文化財
- 保健体育・スポーツ など

特別委員会

防災・国土強靱化対策特別委員会

(定数11人)

- ◎中村 裕一
- 角田 秀樹
- 濱口 太史
- 鈴木 太雄
- 藤山 将材
- 山田 正彦
- 富安 民浩
- 花田 健吉
- 片桐 章浩
- 長坂 隆司
- 高田 由一

防災、減災、迅速な復旧・復興等諸般の災害に関する施策について調査審議します。

審議内容

- 南海トラフ巨大地震対策
- 台風等による土砂災害対策
- 紀伊半島一周高速道路の整備
- 公共施設の高台移転の促進 など

人権・少子高齢化・環境問題等対策特別委員会

(定数10人)

- ◎向井嘉久蔵
- 奥村 規子
- 中本 浩精
- 上田 良治
- 岸本 健
- 森 礼子
- 立谷 誠一
- 吉井 和視
- 藤本眞利子
- (欠員1人)

人権、少子高齢化、環境問題等に関する施策について調査審議します。

審議内容

- 少子高齢化対策
- 災害廃棄物処理 など

行政改革・基本計画等に関する特別委員会

(定数10人)

- ◎山下 直也
- 浦口 高典
- 尾崎 太郎
- 新島 雄
- 門 三佐博
- 井出 益弘
- 服部 一
- 尾崎 要二
- 雑賀 光夫
- 多田 純一

行政改革、県行政に係る基本計画等及び関西広域連合について調査審議します。

審議内容

- 行財政改革
- 関西広域連合 など

半島振興・交通・産業振興対策特別委員会

(定数11人)

- ◎大沢広太郎
- 浅井修一郎
- 山本 茂博
- 坂本 登
- 宇治田栄蔵
- 前芝 雅嗣
- 谷 洋一
- 谷口 和樹
- 松坂 英樹
- 中 拓哉
- (欠員1人)

半島地域の振興対策及び交通・産業の振興に関する施策について調査審議します。

審議内容

- 半島振興
- 交通対策
- 産業振興 など

予算特別委員会

(定数19人)

- ◎富安 民浩
- 浅井修一郎
- 濱口 太史
- 鈴木 太雄
- 山下 直也
- 門 三佐博
- 中本 浩精
- 上田 良治
- 山田 正彦
- 尾崎 要二
- 森 礼子
- 立谷 誠一
- 花田 健吉
- 谷 洋一
- 谷口 和樹
- 浦口 高典
- 長坂 隆司
- 雑賀 光夫
- 多田 純一

県の予算を総合的に調査審議します。

審議内容

- 一般会計予算
- 特別会計予算 など

①紀の国森づくり税条例
②紀の国森づくり基金条例

平成19年4月1日施行

林業経営を巡る厳しい状況の中、林業経営者のみの努力では、森林の公益的機能を守ることが困難な状況になっているため、この税を活用した森林環境を守るための新たな施策の展開を図り、県民の意識を一層高めていきます。



③和歌山県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例

平成19年4月1日施行

透明性の高い県行政を推進するため、県が策定する基本計画の策定等を議会の議決事件とすることにより、基本計画の立案段階から実施に至る各段階において議会が関与し、知事その他の執行機関とともに県民に対する責任を果たしていきます。



④和歌山県未成年者喫煙防止条例

平成20年4月1日施行

未成年者の喫煙は法律では禁止されているにもかかわらず、いまだ憂慮すべき状況にあるため、未成年者の喫煙を防止するための社会環境の整備や未成年者の健康の保護及び健全な育成に寄与します。



⑤和歌山県防災対策推進条例

平成20年4月1日施行

阪神・淡路大震災の教訓として、自助・共助の重要性の再認識が求められていることや、近い将来、東南海・南海地震等の発生が危惧されていることを踏まえ、防災対策を総合的かつ計画的に推進し、災害に強い地域社会をつくります。



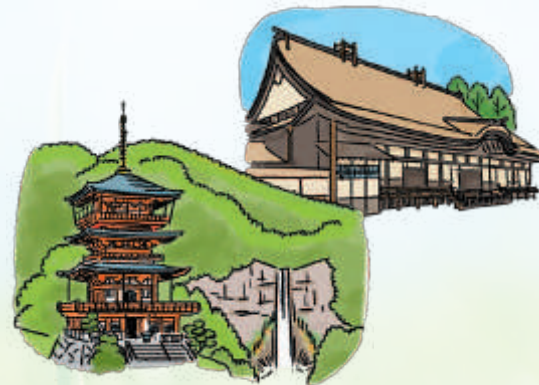
県議会では、住みよい和歌山県をつくるため、これまで多くの関係者の声を直接伺ったり、パブリックコメントを実施すること等により、多くの県民からの様々な意見を取り入れながら議論を重ね、議員提案による条例を策定してきました。

議員提案条例

⑥和歌山県観光立県推進条例

平成22年4月1日施行

県勢浮揚のためには、観光を本県経済のリーディング産業となるよう育成し、観光立県を実現することが必要であるため、県民総参加による観光振興の取組を推進し、観光立県和歌山の実現を目指します。



⑦和歌山県民の歯と口腔の健康づくり条例

平成24年4月1日施行

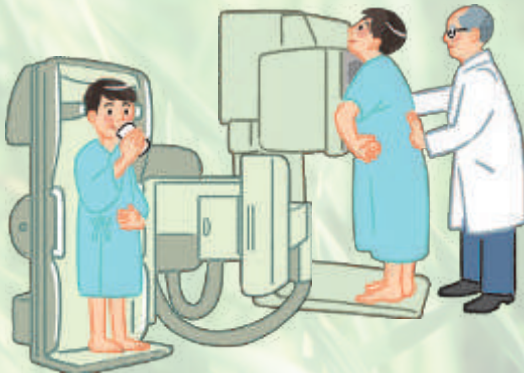
歯と口腔の健康づくりは、身体全体の健康を維持し、質の高い生活を実現していく上で重要な役割を果たしているため、施策の総合的かつ計画的な推進を図り、県民の健康の増進及び元気で健やかな生活の実現に寄与します。



⑧和歌山県がん対策推進条例

平成24年12月28日施行

本県においては、がんは疾病による死亡の最大要因であり、県民の生命及び健康にとって重大な脅威となっているため、実効性のあるがん対策を総合的かつ効果的に推進します。



⑨和歌山県中小企業振興条例

平成25年12月26日施行

県内企業の99.9%を占め、本県経済において重要な役割を果たしている中小企業を県を挙げて振興することにより、本県経済の持続的な発展と県民生活の向上に寄与します。



Information

県議会からのお知らせ



テレビ・ラジオ放送



定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送(9月定例会の放送予定 9/9、16~19、26)

県議会手話だより 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

ラジオ 和歌山放送(WBS)

県議会ダイジェスト 開会、質問、閉会日の22時から15~30分間放送(9月定例会の放送予定 9/9、16~19、26)

県議会ホームページ



和歌山県議会 和歌山県議会

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

傍聴してみませんか



- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

平成26年9月定例会 会期日程(予定)

本会議	9月 9日(火)
本会議(質問)	9月16日(火)~19日(金)
常任委員会	9月22日(月)・24日(水)
本会議	9月25日(木)・26日(金)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

「点字版・テープ版」のご案内



本紙の点字版、テープ版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。

- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄附行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- あいさつ状の禁止
- 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- 中元や歳暮の贈答はしない
- お祝い・おみやみやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)

Topics

議会活動を紹介



ブラジル訪問 [在伯和歌山県人会連合会創立60周年]

平成26年4月23日から5月3日までの日程で、山田正彦前議長ほか10名の議員が、仁坂知事らとともに、ブラジル連邦共和国を訪問しました。

今回は、南マット・グロッソ州のドラードス市を知事とともに県政史上初めて公式訪問し、県人会の皆さんや市長らの大歓迎を受けました。ドラードスには、戦後、本県から約110家族が入植し、現在も本県出身者とその子弟の皆さん300世帯以上が暮らしており、ドラードスの発展に大きく寄与してきました。ドラードスでは、現地の日系人子弟に日本語教育を熱心に行っている日本語モデル校も視察しました。

サンパウロでは、在伯和歌山県人会連合会創立60周年記念式典・祝賀会が県人会の皆さんや現地行政関係者ら総勢約600名が出席して盛大に行われ、互いに交歓を深めました。その後、イピラプエラ公園内に建立されているブラジル日本移民開拓先没者慰霊碑を参拝し、ブラジル各地において志半ばで亡くなられた開拓先没者に対して敬意を表し、慰霊をさせていただきました。このほかにも、サンパウロ州議会を表敬訪問し州議会議員らとの親交を深めるなど、とても意義のある訪問となりました。

ブラジルの日系人人口は国全体の1%に達しませんが、社会の指導的役割を担う職業に多くつき、国の発展に大きく貢献しています。本県出身者も大変な御苦労の末、立派にその一翼を担っていることを、私たちは和歌山県民として大いに誇るべきであると思います。



関西広域連合議会 6月臨時会開催

本県選出議員が関西広域連合副議長に選出

平成26年6月28日、関西広域連合議会6月臨時会が大府立国際会議場(大阪市)で開催されました。本会議において、山下直也議員が副議長に選出され、「議長を補佐し、議会活動の充実に努め、連合域内の住民の皆様の期待に応えてまいります」と挨拶しました。



6月臨時会一般質問

同日の一般質問においては、山下直也議員が「地方分権改革における提案募集方式の対応」、「産学官連携担当の取組」、「文化振興プログラムの取組推進」について質問しました。

とりわけ、産学官連携担当の取組については、広域的な地域における産学官連携の推進を図るため、関西広域連合内に産学官連携担当を設置したが、今後どのような取組を検討しているのかをたずねました。

本質問に対し、井戸連合長(兵庫県知事)から、現在、構成府県市の意向調査を進めており、まずは複数の地域が強い関心を示している、健康に関する機能性の高い農産物・加工品の研究・開発やビッグデータに代表されるICTを活用したビジネスの創設などの課題に取り組むと考えている、今後速やかに関係自治体や大学、産業界に参加していただく研究会を発足させ、課題ごとに取組を深めたいとの答弁がありました。

本県選出の 関西広域連合議会議員

本県6月定例会において、新たに2名の議員が関西広域連合議会議員として選出され、現在、4名の議員が活動しています。

平成26年6月定例会で選出 平成25年6月~ 平成25年9月~



花田 健吉 議員



角田 秀樹 議員



山下 直也 議員



岸本 健 議員

